

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	農業体質改善推進事業			事業コード	1468
担当課等	農業委員会事務局			担当係名	
課長名	農業委員会事務局 農業委員会事務局	担当者名	川村 東馬	電話番号	7166

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	施策	活力ある農林業の振興	コード						
			5			1						
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 1目 農業体質改善推進事務 (003-01)							
特記事項												
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 不明年度～)								
事務事業の概要	農業委員会は、農業者の代表機関として農業振興、体質改善及び農政問題の処理等を行う。											
根拠法令等	農業委員会等に関する法律第6条第3項											
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)												
少なくとも昭和35年以前から、農業委員会等に関する法律第6条第3項の規定に基づき実施されている。												
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか												
農業者を代表する提言として、議会でも尊重されている。												
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか												
農業政策が毎年変わることで農業を取り巻く環境は混迷を増している。広く農業者や関係団体と意見交換を行い、農業者としての声を集約し市の農業施策に対する提言に反映させていかなければならない。												

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡市の農業施策	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 提言項目数	単位	件
				B.		
				C.		
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動)  ○8/22～9/18農業委員による地区ごとの農業事情の調査を実施した。 ○10/27調査報告に基き、市長への提言事項を審議・決定した。 ○11/1提言を市長に提出した。 ○11/30市長と農政懇談会を開催した。 ○実効性の高い提言を作り上げる見識を養うため次の事業を行なった。 8/17～8/18、8/23～8/24、2/23視察研修 9/30認定農業者、青年農業士と農業委員との意見交換会 9/30消費者等と農業委員との意見交換会 23年度計画(23年度に計画している主な活動)  ○市内農業事情実態調査の実施 ○盛岡市との農政懇談会の実施 ○視察研修の実施 ○認定農業者、青年農業士と農業委員との意見交換会の実施 ○消費者等と農業委員との意見交換会の実施	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 新たに設けた提言項目数	単位	件
				B.		
				C.		
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	農業者の声を集約させた提言を農業施策に反映させ、実現を目指す。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 提言実現数 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	件
				B. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図、上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

## 2. 事務事業の実施状況(続き)

### ⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	提言項目数	件	35	42	42	44	44	44	24年度 44
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	新たに設けた提言項目数	件	10	18	18	17	17	17	24年度 17
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	提言実現数	件	8	14	14	19	19	19	24年度 19
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

### ⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	437	415	479	371	476	476	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	437	415	479	371	476	476	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	437	415	479	371	476	476	*****
	延べ業務時間数	時間	400	400	400	400	400	400	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	*****
	トータルコスト (A)+(B)	千円	2,037	2,015	2,079	1,971	2,076	2,076	*****

### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 提言した建議・要望事項が着実に実現されている。		
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
	理由: 農業者の代表機関として、法に基づき設置された農業委員会が実施するべきものである。		
有効性評価	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
	理由: 農業者の代表機関として、法に基づき設置された農業委員会が実施するべきものである。		
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができない <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他		
効率性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 提言が集約的、現実的かつ効果的な最善の方法で成果をあげているから。		
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容: 農業者の時機を得た声を施策に反映する機会が失われるおそれがある。		
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名:  ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？
公平性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 必要最小限の経費で実施しており、実態調査や委員の資質向上のための研修なども必要最小限の費用で行われているので、事業費の節減の余地はない。		
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 必要最小限の人員体制で業務を行っており、削減の余地はない。		
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 市の農業施策に対する提言はもとより、食育や消費者の意見なども取り入れた提言や要望を行っており公共性は高い。		
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由: 市の農業発展に寄与する事業であり、公益性が高く受益者負担はなじまない。		

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 ／ 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)

#### 5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果		 <p>(2)全体総括(振り返り、反省点) 農業委員を通じて、農業者の意見や農業現場における要望事項が農業施策に反映されるよう提言を行っており、今後も継続して実施する。</p>
	① 必要性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
	② 有効性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
	③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
	④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
今後 の 方向性 と 改革 改善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)		 <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p>
	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携